



市政懇談会報告

市民の声を生かします

市は7月10日の水沢会場を皮切りに、市内5会場で市政懇談会を開催しました。この懇談会は、各区の地域協議会と市が共催したもので、協議会委員や相原正明市長らがこれからのまちづくりについて、直接市民の意見を聴き、市政に反映させることを目的としています。延べ約550人の市民が参加。合併後初の懇談会だけに、新しい施策に期待する声、課題解決を訴える声など多くの声が寄せられました。市はこの声に応えられるよう着実に努力を重ねていきます。今月号では、主な意見や質問を紹介します。

いずれも議会でも最重点で論議しています。再建計画は情報を公開しながら立てていきたいと考えています。

民間企業と同様の決算方法の導入に関しては、企業の効率を追求する考え方を、行政のあらゆる分野で適用していききたいと思っています。しかし市の一般会計は官庁会計というルールが定められているので、これに沿いながら、現実的に病院、競馬、土地開発公社といった課題に全力で取り組んでいきたいと考えています。

意見・質問

地域協議会には関心を持って、いるが、地域協議会で決める前に地元で話し合いができるよう配慮を望む。

市の回答・相原市長

地域協議会は、まず新市建設計画の進み具合をチェックして、もし市が変更する場合にはそれに対して意見を述べるという非常に大事な機能を持っています。本年度は地域協議会に対し、新市建設計画の内容について、17年度の旧5市町村の決算を受けた計画の調整や、旧5市町村が自発的に持ち込んだ基金を、どのように有効に活用するかなど大事な議論をお願いして

います。今回提言いただいたことを念頭に置きながら、運営していきたいと思っています。

意見・質問

市の監査に外部監査を取り入れてみては。

市の回答・相原市長

大きな都市になったことから検討が必要と思っています。

意見・質問

各区から中心地域へのアクセスは重要な課題。特に東西方向の路線は整備が遅れており、国道397号の整備を早急に進めるべき。

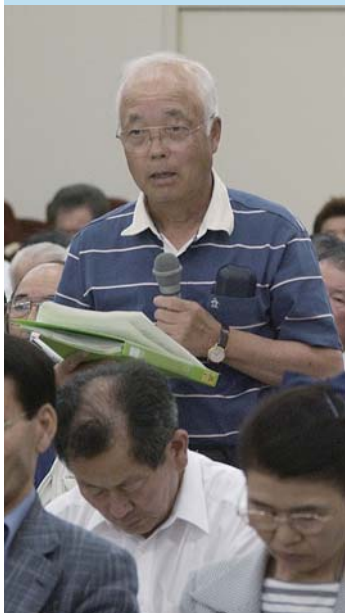
市の回答・相原市長

国道397号の小谷木橋の架け替えは急がれる課題ですが、毎年知事に対する要望で最重点に掲げていても、予算の見通し



主催者としてあいさつをする水沢区地域協議会の千葉博美会長

水沢会場 7月10日 市役所



働く環境含め総合的な少子化対策に

意見・質問

国や県の対策以外に、市はどのような少子化対策を行っているのか。

意見・質問

公営企業会計の状況と今後の見通しについて聞きたい。また市も民間企業と同様の決算方法を導入する考えはないか。

市の回答・相原市長

企業会計で最大の課題は、総合水沢病院の累積赤字が30億円を超える状態になっていること。ほかの病院や水道事業は問題のない状況です。

市の回答・相原市長
1人の女性が生涯に産む子どもの数が全国平均では1・25、市は推計値で約1・7です。
市は現在、新しい観点を加えた少子化対策を検討しています。現状では、第3子以降の保育料完全無料化を実現したことが大きな特徴。そのほかにも、乳幼児医療費無料化、出産費の前払い方式、学童保育、放課後児童クラブの対策を充実させようと検討しています。
水沢病院の附属施設として病後児保育も実施していますが、働く女性の就業環境、育児休業から復職した時の待遇などにつ

競馬組合の130億円を超える累積債務、市土地開発公社が住宅団地や公共用地の先行取得のために行った100億円の借り入れを含め、この3つが大きな課題です。

が立たないという回答です。

公共事業の削減の流れ、県財政の悪化などで大型事業ができていく状況になっています。水沢江刺駅から市中心部までの道

路整備と新大橋架橋についても毎年重点要望として挙げています。同時に実現することは難しいと考えますが、今後とも県に強く要望していきます。



地域の魅力を高められる施策を実施

意見・質問

地区センターは時代に合った制度だと思うが、現状の地区よりも大きな単位で運営しないと、山間部は高齢化で立ち行かなくなる懸念がある。

市の回答・相原市長

地区センターは平成16年度にスタートして3年目に入り、安定してきたと思います。状況を見ながら、各地区振興会と調整し、無理のない形で進めていきます。

中山間地域の高齢化は、全国共通の難しい課題です。地域に

さらに磨きを掛けて出荷数を増やしていきたいと考えています。江刺りんごは、大阪や東京の市場からもっと出荷してほしいと言われています。品質や評価を下げる訳にはいけないので、市のブランド推進室が中心となつて、積極的に取り組みを進めます。

岩手ふるさと農協は、奥州牛を売り出していくことにしており、これも合併効果と感じています。

意見・質問

金ケ崎町との合併について、現時点での見通しを聞きたい。

市の回答・相原市長

金ケ崎町との合併は、誰もが理解できる組み合わせであり、本市側の考えをきちんと表明することがスタートだと思っています。施政方針で表明し、非公式にもこちらの考えを伝えていますが、最終的には町民の考えで決まるものです。相互の立場を尊重し、理解を得ながら進めたいと思います。平泉町との合併も同じ考え方です。

新しい合併特例法の期限は、平成21年度になっています。財政的なメリットは少ないものの、合併を応援する法律であり、この期限を大事にして進めていきます。(4ページへ続く)